

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームらしど(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75	(回答者数) 58
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様と対面でお話できる機会が多く、気軽に相談や申し入れ・情報共有をしやすい環境である。	毎回の療育後に必ずフィードバックの時間を設けており、活動の様子やお子さまの状況をお伝えするとともに、情報共有を行っている。 ご希望があれば面談の機会を設けている。	フィードバックの時間は5～10分と短いため、保護者様の様子や必要に応じて、こちらからも面談のご提案を行う。 また療育中にも適時お子さまの様子を伝えたり、場合によっては保護者様にも一緒に活動に参加していただくことで、保護者様との関係やお子さまへの理解を深めていく。
2	個別活動だけでなく、集団活動の枠も設けている。	個別活動と集団活動、それぞれにおけるお子さまの様子や課題を探り、支援内容に反映させるようにしている。 園や学校での集団生活に向けて、個別活動で経験したことを小集団での活動に活かせるよう、繋がりのある支援を心がけている。	保護者様からの聞き取り等をもとに、園や学校で実際に行われている取り組みを知り、より実際の場面に近いプログラムを検討する。
3	情報発信や研修事業が充実している。	定期的に法人ニュースレターやホームページ・Instagram等で活動内容や情報の発信を行っている。 外部イベントや研修会に関するお知らせを事業所に掲示するとともに、案内を配付している。	ホームページやInstagram等、掲示をしていない情報ツールを知らない保護者様が多いため、積極的に広めていく。 通勤や家庭の事情がある職員も研修に参加しやすいよう、開催時間や場所の調整を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育スペースが少し狭い。 マット数の都合で、療育室全体にマットを敷きつめることができていない。	建物の構造上、3～4人で療育室を共有したり、ダイナミックに遊具を揺らして遊んだりする時に、それぞれの距離が近くなりやすく、リスク管理が必要である。	安全に活動が行えるよう、職員の立ち位置やマットの配置等に工夫が必要である。 マットの追加を検討する。
2	定員の都合で、保護者様やお子さまが求めるご利用頻度の保障ができないことがある。	ご利用を希望してくださる方が多く、ご希望よりも少ない頻度や、キャンセル待ちでの不定期利用でご了承いただいている状況である。	ご利用していただいた時に、生活の中でも取り組める関わりや方法をお伝えする等、毎回の支援の質や満足度の向上に努める。
3	職員によって支援技術や知識に少しかたよりがある。	お子さまの様子に応じて臨機応変に支援プログラムを組み立てる力が必要なため、個々の経験や知識によってかたよりが出やすい。	研修やメンター制度の強化を図る。 職員間で情報共有を密に図り、チームで支援方法を検討することで、事業所全体の質の向上を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルームらしど(児童発達支援)

公表日 令和8年2月6日

利用児童数

75名

回収数

58件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○				しっかりと運動や課題をできるスペース があると感じます。 とくに、ひとりで利用させていただく際 には、室内でありながらダイナミックな 動きができ、固有感覚の鈍い息子には最 適です。 限られたスペースで工夫してくださっ ているとは思いますが、もう少し広いと嬉 しいです。 毎回飽きることなくいろんなことをし ているので、やり方次第で同じ場所でも楽 しめるんだということがわかりました。	ご意見ありがとうございました。 限られた広さの中でも安全に活動ができ るよう、遊具の出し方やスタッフの配置 等の環境構成に努めながら取り組んでま いります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	○				子供に対してしっかりと関わってくださ り、課題によっては仲裁の先生も参加さ れており、個別の良さを感じます。 時には1人に2人以上の先生がついて見て くださることがあります。ありがたいで す。 十分な人数でマンツーマンでご指導頂い ています。 一対一で見てもらえることで、本人も安 心していろいろなことに挑戦できていま す。慣れてくることで出てくる課題やわ かる特性もあるので、それを見学できる のはありがたいです。	ご意見ありがとうございました。 今後も活動やお子さまの状況に合わせて 職員の人数を調整していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○				空間は整理整頓されているが、他児も同 じ空間で活動しているので、自分がどの 遊具で遊ぶのか分かりにくい時があるの かなと思います。 マットレスが敷かれていない部分に少し 不安を感じます。 いつもあるジャングルジム・トランポリ ン、場合によって出てくるブランコな ど、小さなメリハリがあるのが良いと思 います。小さな変化での痙攣なども課題 なので、切り換えの様子もわかっていい と思います。	ご意見ありがとうございました。 安全に活動ができるよう、マットの位置 やスタッフの配置等の環境構成に努めな がら取り組んでいきます。 また必要に応じて、他児と遊ぶ空間を分 ける・必要な遊具のみ設置する等、お子 さまが見通しを持ちやすい遊びの設定に 努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○				トイレのスリッパの位置が難しい。 過ごしやすいと思います。 いつも楽しみに通っています。	ご意見ありがとうございました。 より過ごしやすい環境に向けて、改善案 を検討いたします。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	○				活動が子ども主体になっているので、そ れが特性等に応じた専門性の支援が受け られているとは感じにくい。 親では思いつかないようなアプローチで 子供に負担なく支援していただけるので とても助かっています。 言語聴覚士さんが少ない。 先生により指導技術に差はありますが、 先生をローテーションにいただいで いるのでバリエーションの多い支援をし ていただいています。 専門の先生方が、子どもの得手・不得手 をしっかりと見てくださり、その子に合 わせて訓練内容を作ってくださいいま す。 幼稚園などではできない絶妙な特性理解 ができる遊びを毎回されているなど感じ ています。楽しむこと苦手なこともある とは思いますが、比較的苦手なことにも 挑戦しやすい工夫をされていると感じま す。	ご意見ありがとうございました。 お子さまの日々の様子を職員間で共有 し、課題に応じた支援方法をチームで検 討するとともに、個々の自己研鑽に励む ことで、一貫した支援の質の保障に努め てまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	○					

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○			支援計画が普段の様子からしっかり分析をされていて安心してお願いできています。非常に的確で丁寧、かつ分かりやすく作成していただいていると思います。いつもよくみてくださっていると感じています。ありがとうございます。身体の動かし方・運動しながらの意思疎通など、他の事業所とは違う特徴があり、支援計画もそれに準じていると思います。	ご意見ありがとうございました。今後もお子さまの様子や発達状況を詳しくお伝えしつつ、保護者様の想いにもお応えできるよう努めてまいります。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○				子供の様子に合わせていつも柔軟に対応して下さっていると思います。	ご意見ありがとうございます。この結果が維持できるよう今後も努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	○					園の先生等に療育の見学をしていただくことも可能です。ご要望があれば、お気軽にお声がけください。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○				丁寧に説明いただきました。	ご意見ありがとうございます。この結果が維持できるよう今後も努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○				親に対するプログラムがあればぜひ参加してみたいです。	ご意見ありがとうございます。今後も定期的な研修会の開催や情報提供を行ってまいります。保護者様を対象とした研修会等についても、今後検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	○				対面でしっかり話して下さるのでありがたいです。	ご意見ありがとうございます。今後も保護者様とのフィードバックの時間を大切にし、お子さまへの理解が深まるよう取り組んでいきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○				フィードバックだけで終わることが多い。こちらが聞いたことに関してすぐ回答があるわけではなく、職員で共有しますね、で終わることが多いので、相談した側としてはモヤモヤする(後日回答がもらえるわけでもない)ので。	ご意見ありがとうございました。お子さまのご様子や面談機会の希望等について、職員から積極的に情報収集をするよう心がけてまいります。またご相談に対して、迅速なお答えや改善・対応策の提案ができるよう、努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	○				小学生向けにはあるようですが、幼児向けにはあまりないように思います。同じ曜日のお母さんとしっかり話ができるようになり、ありがたいです。	ご意見ありがとうございました。未就学児も参加が可能なイベント等の開催について、今後検討させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					お気軽に相談していただける環境や雰囲気作りを努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	○					定期的に法人ニュースレターやホームページ・Instagramにて活動概要や情報の発信を行っております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					個人情報に記載されている書類等は、全て鍵付きの書庫に保管しています。また廃棄書類はゴミ箱ではなく、シュレッダーを用いて廃棄しております。	
非常時等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○					

の 対 応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		定期的に避難訓練を行っています。また避難場所の掲示や災害セットの備蓄を行っております。
非 常 時 等 の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					安全に活動ができるよう、マットの位置やスタッフの配置等の環境構成に努めながら取り組んでまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○				まだ経験したことがないので分かりません。	ご意見ありがとうございます。万が一事故等が発生してしまった時には速やかにご連絡し、事故の発生状況等についてご説明させていただきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	○				らしどが大好きです。通い始めの頃は警戒感があり、母から離れないことがありますが、先生方にも慣れ、着いたらすぐに先生と楽しみ始め、母にも目もくれなくなりました。だいすきな先生がいる。	ご意見ありがとうございました。この結果が維持できるよう今後も努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	○				気分や先生によってノッてる日とやる気のない日の差があります。毎回先生が替わることに最初は緊張していましたが、最近では楽しみにするようになりました。らしどの日だよと伝えると、朝から凄く楽しみにしている様子。	ご意見ありがとうございました。お子さまの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討するとともに、個々の自己研鑽に励むことで、一貫した支援の質の保障に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				どの先生もびっくりする程優しいです。子供も先生達に親しみを感じ、毎回楽しく学べる時間を楽しみにしています。困っている事を相談したら、スピード感を持って対応してくださる誠実さも素晴らしいと思います。子供の成長を見守ってくださり、いつもありがとうございます。なかなか空きがない。活動材料費が意外と高い。職員の方は専門性が高く、子どもに対しても寄り添う支援をして下さって感謝しています。これからもよろしくお願いします。	ご意見ありがとうございました。定期予約のキャンセルが出た時には積極的に誘いをさせていただきます。また不定期のご利用でもご満足いただけるように、ご相談やお悩みに対して迅速なお答えや改善・対応策の提案ができるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルームらしど(児童発達支援)				公表日	令和8年2月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容によって、使用するスペースを分けたり共有したりできるよう、事前に連携を行っています。	集団療育時にダイナミックな遊び方をしようと思うと、手狭に感じることがあります。集団療育の日は狭く感じます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		マンツーマンでの個別療育を行っています。療育後のフィードバックが安全に行えるよう、個室に移動したりお子さまのクールダウンを促したりしています。	正直、時期によってきつい時もありましたが、現在は適切だと考えます。職員がきちんと出勤できれば適切な人数ですが、シフト上もともと人数が少ない日に急な休みが入ると厳しいことがあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		階段が急なため、手伝いが必要な方にはインターフォンで声をかけていただくようお願いしています。遊具や玩具がお子さまの刺激とならないよう、倉庫に収納しています。階段下、お手伝いが必要な方に声掛けができるよう貼り紙の掲示をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に清掃を行っています。定期的な清掃・換気・アルコール消毒を徹底しています。活動内容によって個室と療育室を使い分けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室が1つあり、机上活動やクールダウンの場として活用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務を行う中で気になる点が出た時には、都度職員で話し合いを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からの評価表は、毎年全てに目を通してあります。事業所評価を行い、保護者の意向の把握を行っています。保護者様からいただいたご意見や内容について、改善に努めてまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務を行う中で気になる点が出た時には、都度職員で話し合いを行っています。都度職員からの意見を聴取しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在のところ、第三者による外部評価は実施していません。今後必要があれば検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、事業所内や社内・職種別の研修を開催しています。有志で参加する研修が多い中、事業所全体で参加を推奨する雰囲気が出ています。勉強会はたくさんあります。社内での勉強会の開催や、外部の研修を受講する機会がたくさんあります。		
適切な支援の標	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		弊社ホームページにて、作成した支援プログラムを公表しています。丁寧に個別支援計画は作られています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		適切な支援計画の立案に向けて、日々のアセスメントや保護者様とのフィードバック・ニーズの聞き取り等を密に行う心がけています。計画期間ごとにモニタリングを行い、お子さまや保護者様の意向を取り入れた支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		お子さまの日々の様子を職員間で共有し、課題や成長に合わせた支援方法をチームで検討しています。		

児 供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画は全職員に共有されており、療育前には必ず確認しています。 療育に出る職員は都度確認し、支援計画をもとに療育内容を考えています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎回支援記録を残しており、状況や変化が都度確認できるようにしています。	標準化されたツールがなく、主観的な評価になっています。
適 切 な 支 援 の 提 供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		定期的にあセスメントを行ったうえで、お父さまや保護者様のニーズに沿った支援計画の立案に努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お父さまの日々の様子を職員間で共有し、課題や成長に合わせた支援方法をチームで検討しています。 集団活動のプログラムは、事前に役割分担等の進行について密に連携を図り、チーム全体で取り組むよう努めています。 担当が行っています。 個別支援計画やこれまでの支援記録をもとに担当者が考え、悩んだ時にはその都度相談し合っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お父さまの発達状況や成長・その日の様子に配慮しつつ、楽しく参加できる活動の提供に努めています。 ほとんど毎回異なる活動を提供しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別・集団におけるお父さまの発達段階に応じた課題を探り、支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の活動内容や役割分担について、確認する機会を設けるようにしています。 各担当が療育前に行っています。 時間的にできる時には話しています。	打ち合わせを行えない時もあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	必要に応じて保護者様からの相談事項を共有したり、療育内容を振り返ったりする機会を設けています。 気付いた点があった際は、その都度伝え合っています。	立て込んでいた時には振り返りの時間を取れない時もあります。 職員間での振り返りはよくしていますが、毎回ではありません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回、支援内容やアセスメントの記録を必ず残し、モニタリング等に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度、保護者様への聞き取りを行い、支援計画の見直しを行っています。保護者様と園やご家庭・他事業所での様子を共有しながら、お父さまの全体像の把握に努めています。 必要に応じて行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や、よくサービス提供を行っている職員が参加しています。 児発管(児童発達支援管理責任者)や療育担当者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携が必要な際に、園等と連携を行っています。 ご希望があれば、園の先生や他事業所・相談支援事業所等の関係機関の方に療育を見学していただくことが可能です。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様からの聞き取りをもとに園でのご様子を推察し、それを踏まえた支援を検討しています。 担当者会議があれば参加し、情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		希望された方のみ、お父さまのご様子や支援内容等の情報提供を行っています。 希望があった方には、就学の際に引き継ぎ書を作成しています。 保護者様からの希望があれば、情報提供をしています。	全員ではなく、保護者様からお話があった際に情報共有を行っています。 全員には行えていません。
		(28~30は、センターのみ回答)				

連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)					今後必要があれば、検討いたします。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○			
関係機関や保護者との連携	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	ご希望があれば、園の先生等の関係機関の方に療育を見学していただくことが可能です。	今後必要があれば、検討いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の療育後に必ずフィードバックの時間を設けており、活動の様子やねらい・お子さまの状況等をお伝えするとともに、情報提供を行っています。療育後にはフィードバックを行い、情報共有を行っています。また個別での相談も必要に応じて行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	研修等のお知らせを定期的に提示し発信しています。適時、対面やお電話にて情報共有を行い、気軽にご相談いただける環境づくりに努めています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時や契約時に、運営規定や支援プログラム・利用者負担額等について説明を行い、質問等があればその場でお答えしています。見学時・契約時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時にお子さまや保護者様のニーズの聞き取りを行い、それに基づいた支援を検討しています。また半年に一回モニタリングを行い、ニーズの変化があった時には都度支援内容の修正・変更を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		必ず職員が対面にて説明を行い、保護者様からの同意をいただいたうえで、署名をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご希望があった時には、面談の機会を設けています。面談だけでなくお電話でも相談を受け付けており、支援方法やご家庭での対応策等を提案しています。	定期的には行っていませんが、保護者様からのご依頼があれば行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	同じ時間帯で来られている保護者様同士でお話をされていることはあります。	父母の会やきょうだい同士で交流する機会は現在設けておりません。今後必要があれば検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に要望や苦情に対する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めています。保護者様からのご依頼があれば行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人ニュースレターやホームページ・Instagram等を通して、定期的に活動内容や情報の発信を行っています。ホームページや新聞の配付にて情報の発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類等は、全て鍵付きの書庫に保管しています。鍵のかかる書庫にて保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さまの発達状況や様子に応じて、絵カード等の視覚支援を用いて、情報の伝達や意思の疎通ができるよう努めています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後、ご希望があれば検討していきます。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定しています。 感染症の流行や災害時を想定した訓練を定期的 に実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害時に備えて災害セットの備蓄を行うと ともに、定期的に訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に禁忌事項について保護者様に確認を行っ ています。 保護者様から都度教えていただいたり、児童表に て確認を行ったりしています。 契約時に保護者様から提出いただいた書類で把握 しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はありません。アレルギーの有無は確 認し、活動内容を考えています。 食べ物の提供はありません。 食事提供は行っていません。小麦粉等を使用した 遊びを行う際には、事前に保護者様に確認を取っ たうえで実施しています。	
非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎月、安全点検を行っています。 月1回、遊具等の安全点検を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に非常時の対応について説明を行っていま す。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事案が起こった時にはヒヤリハットを作成し、原 因や予防策を職員で話し合っています。 他事業所で起こった事案についても、社内全体で 共有しています。 必要に応じて現場検証や話し合いを行っていま す。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を社内に設置しています。虐待防 止に関する研修を定期的に受講しています。 研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		虐待防止委員会を社内に設置し、適切な支援が行 われるよう努めています。 身体拘束に関する指針に基づいて行っていま す。 身体拘束が必要な場合は、保護者様に説明し、了 承を得てから行うようにしています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム らしど(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日	～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	188名	(回答者数) 86名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日	～	令和8年 1月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、児童指導員、作業療法士、理学療法士が在籍しており、専門性を活かした療育を提供することができる。	療育は担当制ではなく、いろいろな視点でご利用児様の様子を見させて頂いています。	評価した内容をスタッフ全員に共有し、共通認識を持って療育を行っています。
2	個別療育だけではなく、集団活動の枠も設けている。	個別活動と集団活動、それぞれにおけるお子様の様子や課題を探り、支援内容に反映させるようにしています。 学校や今後の社会での集団生活に向けて、個別活動で経験したことを、小集団での活動に活かせるよう、繋がりのある支援を心がけています。	保護者様からの聞き取り等をもとに、学校で実際に行われている取り組みや今後の進路について知り、より実際の場面に近いプログラムを検討していきます。
3	療育後にフィードバックの時間を設けることや、要望があれば家族支援での面談を行うことで、利用児の様子や課題を保護者様と共有できる。	家族支援での面談を受け付けており、保護者様のご要望に応じて日時の調整をおこなっています。	保護者様が気軽に面談を申し込めるように、スタッフからもお声がけをさせていただきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様と情報共有する機会の少なさを感じています。	避難訓練などを行った際、Instagramなどで情報公開を行っていますが、事業所に掲示などは行っておらず情報共有を行うことができていない。	避難訓練などを行った際は、写真を待合室に掲示していくようにします。保護者様が参加できる研修案内を掲示していきます。 また、お子様の情報共有を行う際は、お子様が近くに居ない時に行う等の配慮を行っています。
2	職員によって支援技術や知識に偏りがある。	お子様の様子に応じて、臨機応変に支援プログラムを組み立てる力が必要なため、個々の経験や知識によって偏りが生じやすい。	研修やメンター制度の強化を図る。 職員間で情報共有を密に図り、チームで支援方法を検討することで、質の向上を図る。
3	療育スペースが狭い。 集団療育の際、スタッフ数が少ない。	ダイナミックに身体を動かす活動を行う際、子供同士がぶつかりそうになり、リスク管理が必要となる。	安全に活動が行えるよう、職員の立ち位置や環境設定の工夫を行っています。また、療育室や個室等を使い分けながら療育を行って行くようにします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援ルームらしど(放課後等デイサービス)
------	------------------------

公表日 令和8年2月6日

利用児童数 188名 回収数 86名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		環境・体制整備	1	○			
	2	○				・集団で遊ぶ時に少なく感じる。 ・子供の声で他の先生が出てきてくれたり、参加してくれるので安心して見えます。	ご意見ありがとうございました。 今後も活動やお子様の状況に合わせて職員の人数を調整していきます。
	3	○					
	4	○				・青いマットの下が汚い	ご意見ありがとうございました。 今後も日々の清掃・喚起・消毒を徹底して行ってまいります。
	5	○				・子供のことを、よく見てくださり、できたこと、難しかったこと、一つ一つ丁寧に支援していただいています。いろんな視点で本当に感謝しています。 ・運営上、様々な制約があるのだと思いますが、利用者としては、毎回同じスタッフが担当して成長や変化、その先の見通しや達成目標などについて言及があると有難い。 ・先生の入替わりが少し多いように感じます。こどもの特性上慣れている先生の方が心を聞くので、もう少し定着していただくと有難いかなと思います。 ・今日の先生が担当されて、その先生はどういったことが得意なので子供の足りていないところを伸ばしていこうと思えます等、説明をしてから始めていただくと更にいいなと思います。 ・我が子の行くタイミングを待つ声掛けしてくれるので助かっています。子供が笑顔で楽しそうにやっていると、来る度に笑顔が増えてきてると感じます。 ・どの先生も子供の得意なことをしっかりと把握されていると感じます。子どもの特性に寄り添った支援をしてください。	ご意見ありがとうございました。 お子様の日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討するとともに、個々の自己研鑽に励むことで、一貫した支援の質の保障に努めてまいります。
	6	○					

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・毎回丁寧に説明していただいています。若い先生もどの先生もすごく頼りになり、子供が安心して通えています。 ・個別支援計画を毎回一から書くのが少し大変です。数カ月でそこまで変わらないので、前回書いたものに付け足す位にいただけるとありがたいです。 ・保護者からの要望を聞いて、それを踏まえて計画してくださったり、日々の療育に取り入れてくださっています。 ・保護者からの要望を聞いて、それを踏まえて計画してくださったり、日々の療育に入れてくださっています。 ・苦手なことも楽しくできるように積極的に取り入れてくれると思います。 ・各児童にあわせた計画となっており、またその計画に沿ったプログラムを体験することで、社会生活が無理なく行える様になっています。 ・丁寧にヒアリングしてくださり、また計画書作成後も十分に時間を取って詳しく説明して下さいます。 	ご意見ありがとうございました。今後も保護者様と情報共有を行いながら、個別支援計画書を作成させていただきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・親の支援があれば、母の話す時間があれば助かるなどと思います。相談できる場所がない。 	ご意見ありがとうございました。お気軽に相談できる環境や雰囲気作りに努めると共に、スタッフからお声掛けさせていただきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに意見を聞きながらやっております。 ・子どものペースで無理なく、飽きることなく支援してもらっています。 ・子どもの成長にあわせたプログラムを組んでいただいている。 	ご意見ありがとうございました。今後も活動プログラムが固定化されないよう、活動内容の工夫に努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			○	<ul style="list-style-type: none"> ・行われることがあるのでしょうか？ ・必要ないと思うので、このままでいい 	ご意見ありがとうございました。機会がありましたらご案内させていただきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・あれば参加したい。教えて欲しい。 ・家族へのフォローは十分にありがたいです。ペアトレの勉強会いつか行っていただけたら嬉しいです。 	ご意見ありがとうございました。ご家族の方が参加できる研修等ありましたら、ご案内させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・担当スタッフが固定でないので、共通理解を作りにくい。 ・気軽に相談に乗っていただいています。 ・毎回活動の最後にその日のフィードバックがあり、相談もできます。 	ご意見ありがとうございました。今後も保護者様と情報共有を行い、お子様への理解が深まるよう、取り組んでまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・面談は特になくと思うが問題ないと思います。 ・面談してもらいたい。 ・気になったことなどは、いつも相談してアドバイスをいただいています。こちらの話もよく聞いて下さり感謝しています。 ・先生方が保護者に挨拶や声を掛けてくださることもあり、何かあったら気軽に相談できる雰囲気があります。 	ご意見ありがとうございました。お気軽に相談できる環境や雰囲気作りに努めてまいります。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・親身になってもらっている。 	ご意見ありがとうございました。今後もこの結果が維持できるよう努めてまいります。	

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				○	・保護者との交流があったらいいと思う。 ・時々イベントがありますが、会費が高くて躊躇しています。 ・兄妹・保護者が参加可能なイベントか企画、開催されている。	ご意見ありがとうございました。 この度のご要望をもとに、保護者同士・兄妹同士の交流機会やイベントの開催について、検討させていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○				・しっかり説明してもらっています。	ご意見ありがとうございました。 今後もこの結果が維持できるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					インスタグラムやホームページ、法人ニュースレターを発行しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					鍵のかかる書庫にて、カルテ等の個人情報記載されている書類は保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○	・保護者宛への通信があるかも分かりませんが、訓練を実施された日時などの案内が無ければ保護者は知ることができないと思います。	ご意見ありがとうございました。 各マニュアルを策定しており、定期敵に避難訓練や嘔吐処理訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○	・もちろんのことではいらっしゃると思いますが、開示がなければ分かりません。社内報や保護者向けの案内があるかどうか分かりません。 ・インスタで、訓練実施の記事を拝見しました。	ご意見ありがとうございました。 各マニュアルを策定しており、定期敵に避難訓練を実施し、インスタグラムやホームページにて訓練の様子等を発信させていただいています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○				・高いところから子供が落ちてしまい、怪我はなかったですが尻もちをついた場面を見たことがあり、マットを数ヶ位置をもう少し意識して置いて欲しかったです。	ご意見ありがとうございました。 安全に活動ができるよう、マットやクッションの位置、スタッフの配置等の環境調整を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○				・過剰なくらい心配してもらって、逆に申し訳ないくらい	ご意見ありがとうございました。 安全に活動ができるよう、今後もリスク管理を徹底してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				・楽しんでます。 ・先生方に親しみを感じており、通うことを楽しみにしています。	ご意見ありがとうございました。 今後も安心してご来所していただける様、努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				・とても楽しみにしています。 ・とても楽しみにしています。スタッフのどの方との時間もそれぞれ楽しみ方を変えている様子が見られます。褒めてもらえ、自己肯定感を上げてくださるご褒美の時間になっています。 ・らしどの帰宅後もしらしどに行く？と聞いてくるくらい楽しみにしています。 ・いつもありがとうございます。	ご意見ありがとうございました。 この結果が維持できるよう今後も努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				・せっかく色々企画されているイベントに行かせたいですが、集合場所が車を持っていないと行けない場所が多くて参加できません。駅等、公共交通機関で行ける場所を集合場所にしていただけると助かります。 ・他デイでは当日利用の主旨目的が明確になっていたり、利用中の写真を添付して利用中の様子まで教えてくださいます。保護者への安心感に繋がるサービスがあると良いと思います。 ・概ね満足していますが、相談する機会がもっとあるといいです。終わった後のフィードバックでお話しする時間がりますが、子どもが近くにいるのでお話しできない事もあります。 ・安心して楽しく過ごせる居場所を作ってください。心から感謝しております。らしどで経験したことや学んだ事が学校生活にも生きていと感じています。ありがとうございます。	ご意見ありがとうございました。 個別支援計画書を説明させていただく際に、療育での目標を説明させていただくと共に、フィードバックの際も様子をお話させていただきます。療育の見学も可能ですので、様子を見ていただけたらと思います。 お子様の情報共有を行う際は、お子様のいらっしゃらない場所等をご提案させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援ルームらしど(放課後等デイサービス)				公表日	令和8年 2月 6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			個別や午前の集団枠では適切と感じますが、午後の集団枠では1,2年生が4人いると、狭さを感じる事が多い。個室と療育室を使い分けながら療育を実施していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別療育を実施しているため、1対1の関わり行っています。児の特性にあわせてサブのスタッフを必要に応じて配置するようにしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		療育室はマットを敷いており少し段差はありますが、障害の特性にあわせてマットを撤去する等、環境調整を行っています。また、入ってはいけない部屋には、ドアに「X」を貼る等、視覚手段を用いる様にしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		週二回の掃除だけでなく、毎日トイレ掃除や早出・残業での掃除、療育で使用した遊具や道具などは消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室やロフト等を使ってクールダウンを行う場所を設けています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全体としての取り組みは行っていません。	今後は職員が参加できる機会を作っていくようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所の評価を年1回行い、保護者様の意見を聞く機会を設けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回事業所内研修を実施し、意見を出し合う機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		会社内で様々な勉強会が開催されています。また、感覚統合に関する研修を受講する機会や学会へ参加する機会も設けられています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		記録だけでなく、実際に療育を担当している職員からも話を聞いたり、専門支援計画書等を参考にしながら、計画書の作成をおこなっています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書をもとに療育内容を決め療育を実施しています。	中間評価が不十分と感じることもあるので、経過やアセスメントを記録にしっかり記載していくようにします。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		主観的な行動観察を行うことが多く、数値化できる評価やJSI-Rや発達検査や知能検査の結果を確認する様にしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		療育に出る担当者同士で活動内容を共有するようにし、役割分担を決める様になっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		集団療育を行う際は、スタッフで活動内容を共有するようにし、役割分担を決める様になっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		担当職員同士で話し合いを行う様にしていますが、難しい時は記録を活用し、共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		療育終了後には記録の記載を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回計画書の作成を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		個別や小集団活動を組み合わせながら支援を行っています。成功体験を積み重ねていき自己肯定感を育むことや、失敗や挑戦する機会を設ける様にしています。また、活動内容を児が主体となって決める機会を設けています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		療育担当者が全てを決めるのではなく、利用児が自己選択、決定できる様に児にあわせた声掛けや選択肢を出す様にしています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員が参加することもあります。難しい場合は児の様子をまとめ持参することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校に登校しにくい児が通う学校とは、校長先生に見学に来ていただき、児が来所した日は登校扱いになるように話をさせていただいています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		左記の情報共有は行っていませんが、登校扱いの児については毎月情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○	法人内の事業所や担当会があれば参加し情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	担当会があれば参加し、情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現在参加できていないので、時間を調整し今後は参加できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育終了後には様子を等を伝える機会を設けており、その際に情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修などの情報があれば、情報共有をおこなっています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時等におこなっています。保護者様から質問があれば都度、説明を行っています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画書を作成するにあたり、保護者様やご本人から意向を聴取しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書を見てもらいながら説明を行い、保護者様から同意を得る様になっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		療育の合間に話を伺ったり、必要に応じて個別で相談に応じることができることを保護者に伝え、助言等を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在、保護者会や交流会は実施できていません。今後、交流する機会等も検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応の窓口を設置すると共に、保護者様から苦情等があれば迅速に対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に新聞の発行やホームページ、インスタグラムにて療育の様子や、連絡事項等の情報を掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のかかる書庫にて、カルテ等の個人情報に記載されている書類は保管を行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		待合いにマニュアルをファイルに入れて置いています。保護者様に周知はできていません。嘔吐処理等の訓練は行っており、ホームページ等で訓練の様子を掲載しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練等を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		年度初めに児童表に服薬状況やてんかんの有無を記載していただいています。また、薬等の変更があった際は適宜保護者様から教えていただき、職員全員に共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食品の提供は行っていませんが、児童表にアレルギーの有無を書く項目があり、アレルギーがあれば記載していただいています。随時、保護者様から報告していただいています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		遊具の安全点検を月1回実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		月1回遊具等の安全点検を行っていますが、保護者様には周知できていないので、今後どの様に周知していくか検討を行います。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故報告書やヒヤリハット報告書が届いたら、スタッフが確認できる様にし、同じ事故を起こさないようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回虐待防止についての研修を実施し、どの様なことが虐待にあたるのか等、理解を深める様にしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		指針に沿って判断を行っています。身体拘束を行う際は、保護者様に説明を行い、了承を得てから計画書に記載する様にしています。		

事業所名

発達支援ルーム らしど

支援プログラム

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念	「一人ひとりの色（個性）を大切に」を理念に運営しています。子どもたちが個性という一人として同じではない色や音を放ち輝き、社会の中で素敵なおメロディーを奏でるまで見守り支援していく、奏音はその役割を担ってまいります。				
支援方針	主に感化統合理論に基づいた療育を行っており、前庭覚や固有覚、触覚などの感覚刺激を遊びに取り入れて提供しています。子どもたちが遊びを通して能動的に感覚を入力することで、感覚の偏りを減らし、生活での困難さを改善してけるように支援を行っています。個別療育以外にも、未就学児の集団療育、就学児の集団療育、不登校児の支援など、多様なグループ療育の時間帯があり、学習に向き合える心と身体を作ると共に、コミュニケーションのスキルアップも図ります。				
営業時間	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの発達段階に合わせた活動を行うことで、健康な心と体を育て、安心して日常生活を送ることができるよう支援を行います。 ・遊びの中で身体を操作することや、楽しく生活動作を経験することで、食事・更衣・排泄動作など生活に必要な動作が身に着くように目指します。 ・活動を通して、感覚探求の充足や覚醒レベルの安定を図り、生活リズムの安定に繋がります。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの感覚特性を評価し、それを踏まえて環境や活動内容の調整を行うことで、発達の土台を作ります。 ・運動遊びを通して、姿勢の安定や、運動コントロールの上達を図り、日常生活動作の基盤となるように支援を行います。 ・必要に応じて、生活場面で課題となる運動(道具操作や運動課題など)を行い、発達段階に合った練習方法を提案します。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さん自らが活動・環境に関わり、能動的に行動することで様々な経験を積めるように機会を設けていきます。 ・活動を通して感覚入力を行い、周囲から必要な情報を収集し、見通し・予測するための手立てとなるよう支援を行っていきます。 ・発達段階に合わせて、色や数などの概念理解や、文字や計算などの学習課題が習得できるように、遊びやプリント課題を行います。 ・一人ひとりの特性に合わせた情報提示(視覚支援、構造化など)を工夫し、活動やルールへの理解を促します。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と活動を共有しながらコミュニケーションを取ることで、安心して相手との関わりを持てるように促します。 ・動作や場面に合わせた声掛けを行うことで、具体的な事柄と言葉の意味を結びつけていきます。 ・ジェスチャーやカードなどお子さんにあったコミュニケーション方法を一緒に考え、生活の中でのやり取りに活かせるように支援を行います。 ・他児とのやり取り場面では、スタッフが仲介して相手の様子や気持ちに注意が向くように声掛けを行い、気付きを助けます。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の発達段階に合わせて、スタッフや他児と一緒に活動に参加する機会を作ることで、社会性の発達を促します。 ・生活場面で取り組む遊びや活動を事業所内で練習することで、安心して活動に参加できるように支援を行います。 ・活動を通してスタッフとの信頼関係を築き、生活場面や将来の心配を聞き取ったり、具体的な練習が行えるようにサポートします。 ・他者との関わりや、スタッフの声掛けを通して、自分の気持ちや行動の理解を深め、場面に合わせて気持ちや情緒の調節ができるように支援を行います。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が安心して子育てを行うことができるように、生活場面や将来の課題、心配を聞き取り、支援内容の検討を行います。 ・療育内容や本人の様子をご家族にお伝えする時間を設けることで、お子さんの成長への気づきを促したり、支援の共有を行い、家庭と連携して支援に取り組んでいきます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代のお子さんや日々の集団生活を楽しく、安心して過ごすことができるよう、他者との関わりや遊びを想定した活動を行います。 ・療育での様子や必要な手立てを園や学校と共有し、共通した支援が行えることを目指します。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議への出席や、園や学校等との情報共有にて、包括的な支援を行える環境を作ります。 ・お子さんの課題に応じて、買い物や散歩などの活動を取り入れ、地域と関わる機会を作ります。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内、法人内の勉強会を月に複数回実施しています。 ・新入職員を対象に、教育プログラムを実施しています。 ・必要に応じて、外部研修の受講を積極的に勧めています。 ・学会等への参加の機会を設けています。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事(ハロウィンパーティー、クリスマス会など ※事業所毎の開催となります) ・保護者相談会等(定例：就学相談会) ・グループ法人株式会社ToyBoxのイベントへのお誘い 				